

一般社団法人日本ビタミン学会平成 26 年度事業報告

概要

当学会は、ビタミン学(ビタミン、その他のバイオフィクターに関する学問分野)の進歩、発展に貢献し、もって国民の健康増進に寄与することを目的とし、下記事業概要のとおり 1) 会誌、学術刊行物の編集・発行 2) 年次大会、学術講演会 3) 研究の奨励及び研究業績の表彰 4) 市民公開講座及び地区活動の活性化 5) 研究奨励などの事業を行っており、次のとおり平成 26 年度事業活動を報告します。

なお、平成 27 年 4 月 1 日付けで、公益社団法人の認定を受け、一般社団法人から公益社団法人日本ビタミン学会に名称変更いたしました。

1. 会員、役員等

1) 会員異動状況

会員種別	26.4.1	入会	退会	27.3.31	年度末退会
正会員(名)	746	28	14	760	52
学生会員(名)	31	33	6	58	34
団体会員(件)	135	1		136	6
賛助会員(件)	35(63)	3	(1)	38(65)	2(6)

(注)1. 入会、退会数は H26.4.1～H27.3.31 の人数を表す

括弧書きは、口数を表す

2. 正会員のうち特別会費申請者(28名)を含む

2) 役員等(H27.3.31 現在)

名誉会員	8名
理事	16名
監事	2名
幹事	21名
功労会員	88名
代議員	110名
賛助会員幹事	23名

3) 委員会等(H27.3.31 現在)

学術・広報委員会	6名
国際交流委員会	6名
編集委員会	11名
JNSV 編集委員会(英文誌)	11名
トピックス等担当委員会	37名
栄養機能制度検討タスクフォース	16名

2. 事業概要

1) 会誌、学術刊行物の編集・発行

- ① ビタミン学に関する最新の研究成果や最近の動向を編集委員会の厳正な審査を経て、逐次会誌“ビタミン”により、年 11 回発行(1 月～12 月を 1 巻)している。

平成 26 年度は、88 巻 4 号～89 巻 3 号、計 11 冊を発行した。
掲載論文は、以下のとおりである。

巻号	総説	総合論文	原著	ノート	研究論文紹介	講座	ミニレビュー	トピックス
88 巻 4 号								
88 巻 5・6 号			2		2		1	3
88 巻 7 号			2	1				1
88 巻 8 号		1	2				2	3
88 巻 9 号		1			1		2	1
88 巻 10 号		1					3	3
88 巻 11 号							3	3
88 巻 12 号			1	1				2
89 巻 1 号		2						2
89 巻 2 号					2		3	3
89 巻 3 号	1	1			1		2	2
合計	1	6	7	2	6		16	23
不採用			1			1		

② 公益社団法人日本栄養・食糧学会と共同編集して英文誌「 Journal of Nutritional Science and Vitaminology」(JNSV)を年6回発行している。

平成 26 年度発行:Vol.60-2～Vol.60-6、Vol.61-1 計 6 冊

③ 一般社団法人国際栄養食品協会と共同して、米国栄養評議会(CRN)のジョン・ハンズコック博士著の『ビタミン・ミネラルの安全性(第3版)』およびアネット・ディキンソン博士著の『栄養サプリメントの有用性(第4版)』の翻訳本を共同出版し平成 26 年 9 月及び 12 月に各々発行した。

2)年次大会、学術講演会

年次大会は、学会の目的を達成するため、理事会が大会委員長を選任し、大会委員長は、年次大会及び必要に応じて学術講演会、シンポジウム等を開催している。

◎ 平成 26 年度第 66 回大会

開催日:平成 26 年 6 月 13 日～14 日

会場:姫路商工会議所(姫路市)

大会委員長:渡邊 敏明(兵庫県立大学教授)

総参加者数:354 名

大会テーマ:「ビタミン研究の新たな飛躍一次世代をつなぐ基礎、臨床、トランスレーショナルリサーチ」

一般演題発表 106 演題(うち学生発表 39 演題)

教育講演 「One carbon metabolism 関連栄養素と成人病胎児期発症起源説」

福岡 秀興(早稲田大学総合研究機構研究院 教授)

文化講演 「黒田官兵衛の実像」

中元 孝迪(播磨学研究所所長 / 兵庫県立大学特任教授)

シンポジウム 1 「ビタミン・バイオフィクタートランスポーター研究の最前線」

座長:竹谷 豊(徳島大学医学部病態栄養学)

安西尚彦(獨協医科大学医学部薬理学講座)

1)「脂溶性ビタミンのトランスポーター」

高田 龍平(東京大学医学部付属病院)

2)「ビタミン C トランスポーター研究の現状と展望」

石神 昭人(東京都健康長寿医療センター研究所老化制御研究チーム)

- 3)「亜鉛栄養と亜鉛トランスポーター」
神戸 大朋(京都大学大学院生命科学研究科)
- 4)「機能性食品成分のトランスポーター」
薩 秀夫 (前橋工科大学工学部)
- 5)「PG・有機アニオンのトランスポーター」
安西 尚彦(獨協医科大学医学部)

シンポジウム2 「栄養と臨床におけるビタミンの遺伝子多型に基づいたテラ
ーメイド摂取の有用性」

座長：瀧谷 公隆 (大阪医科大学 小児科)
平岡 真実 (淑徳大学看護栄養学部)

- 1)「栄養素と遺伝子多型:テララーメイド栄養学の実践」
平岡 真実 (淑徳大学看護栄養学部)
- 2)「メチルテトラヒドロ葉酸還元酵素 (MTHFR)と神経管閉鎖障害:
葉酸サプリメントは二分脊椎を防止する」
近藤 厚生 (津島リハビリテーション病院)
- 3)「遺伝子多型に基づいた骨粗鬆症のテララーメイド診療の可能性について」
森 聖二郎 (東京都健康長寿医療センター, 臨床研究推進センター)
- 4)「脂溶性ビタミンと遺伝子多型:代謝および臨床との関連」
瀧谷 公隆 (大阪医科大学小児科)
- 5)「ビタミンD 欠乏症の発症に関する遺伝子多型」
北中 幸子 (東京大学大学院医学系研究科)

学会賞受賞講演

「ビタミンEの急性ストレス時における体内動態および組織の酸化ストレス
と酸化障害に対する予防作用に関する研究」

太田好次 (藤田保健衛生大学医学部 客員教授)

「ビタミンB₆ 酵素の構造, 機能, 進化に関する研究」

吉村 徹 (名古屋大学大学院生命農学研究科 教授)

奨励賞受賞講演

「ビタミンEコハク酸の *in vitro* メカニズム解析から *in vivo* 癌治療シス
テムへの展開」

濱 進 (京都薬科大学薬品物理化学分野 講師)

3) 研究の奨励及び研究業績の表彰

学会賞は、我が国におけるビタミン学の進歩発展に功績のあった研究に対し、毎年、学会賞、奨励賞を授与している。特に奨励賞は、将来さらに一層の進展が期待される研究を奨励する目的で若手研究者に授与している。受賞者には、賞記、賞牌、副賞を授与している。

また、年次大会において、学生会員の一般演題発表者の中で最も優秀な発表を行った者に対して学生優秀発表賞を授与している。(代議員等の投票に基づき、業務担当理事会で若干名選出し、賞状及び副賞を授与している。)

*平成26年度学会賞受賞者

種別	受賞者・研究題目
学会賞	太田好次(藤田保健衛生大学医学部 客員教授) 「ビタミンEの急性ストレス時における体内動態および組織の酸化ストレスと酸化障害に対する予防作用に関する研究」
	吉村 徹 (名古屋大学大学院生命農学研究科 教授) 「ビタミンB ₆ 酵素の構造, 機能, 進化に関する研究」
奨励賞	濱 進 (京都薬科大学薬品物理化学分野 講師) 「ビタミンEコハク酸の <i>in vitro</i> メカニズム解析から <i>in vivo</i> 癌治療システムへの展開」

＊平成 26 年度学生優秀発表賞受賞者

氏名	所属	タイトル
赤井 翔太	大阪市立大学大学院理学研究科物質分子系専攻	高度好熱菌由来ホモセリン脱水素酵素の三元複合体結晶構造解析
岩尾 千絵子	長崎県立大学大学院人間健康科学研究科栄養科学専攻	ガラニルゲラノイン酸による小胞体ストレス応答を介した初期オートファジーの誘導
下井 雄太	京都薬科大学薬品物理化学分野	作用メカニズム解析情報に基づくトコフェロールコハク酸の抗癌効果の増強
堀内 寛子	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科応用生命科学専攻	アロキササンによる膵β細胞死に対する S-エクオールの保護作用
前田 美里	東北大学大学院農学研究科生物産業創成科学専攻栄養学分野	ビオチンのテストステロン産生促進作用と I-10 細胞における作用機序解析

4) 市民公開講座及び地区活動の活性化

広く国民にビタミンの知識を深めるため、年1回市民公開講座を開催している。開催地は、全国各地を対象に毎年異なる地域と実行委員長を理事会で決定している。

また、地区部会活動を活性化するため、地区幹事を中心として研究会、シンポジウム等を随時開催している。開催にあたって、地区幹事からの申請を受け、一定の基準で開催経費を学会から補助している。

(1) 平成 26 年度市民公開講座

実行委員長:長岡伸一 (愛媛大学理工学研究科教授)

テーマ:「ビタミンやカロテノイドとアンチエイジング –健康で生き生きと暮らす–」

日時:平成 26 年 11 月 29 日(土)

場所:愛媛大学グリーンホール(松山市)

参加者:約 150 名

講演内容

モデル実験 「体の錆びの原因をビタミンが取り除く様子の観測」

「加齢とともに増える病気とビタミン」

福澤健治 (安田女子大学薬学部教授)

「ビタミン C で健康長寿、老化のスピードを遅らせる」

石神昭人 (東京都健康長寿医療センター研究所研究部長)

「野菜に含まれるビタミンやカロテノイドと健康」

相澤宏一 (カゴメ株式会社研究開発本部自然健康研究部課長)

(2) 平成 26 年度地区部会活動

北海道・東北地区部会(市民公開セミナー2014:日本油化学会共催)

『健康増進 –ビタミン、機能性脂質との上手なつきあい方–食からの健康長寿を目指して』

実行委員長:増田園子(北海道医療大学 教授)

平成 26 年 10 月 25 日(土)13:00~17:00

会場:アスティ 45(札幌市)

参加者: 38 名

① ビタミン E と健康の維持・増進

宮澤陽夫(東北大院・農・教授)

② 液凝固や骨形成以外にも健康維持に重要なビタミンKのはたらき
駒井三千夫(東北大院・農・教授)

③ 海藻の脂質とプロスタグランジン
板橋 豊(北大院・水産 教授)

5)研究奨励(国際学会参加補助等)

ビタミン学研究の進歩・発展のため、国際学会等への参加を奨励し、参加費用の一部を補助している。特に若手研究者の育成に重点をおいて補助し、ビタミン学研究の活性化を図っている。

また、参加奨励する国際学会等の主催団体に対し経済的支援により助成している。

* ICC-04(2014.8.25~28 イタリア パルマ市 国際会議)

参加費補助者:6名

補助額(1名につき):100,000 円

氏名	所属	演題名
伊藤智和	名古屋大学大学院 生命農学研究科	Catalytic mechanism of PLP- and Zn ²⁺ -dependent D-serine dehydratase
北風 智也	大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科	b-Carotene increases mass and changes fiber types of soleus muscle in mice.
Sofya Suidasari	広島大学大学院生物圏科学研究科	Vitamin B6 activates p53 and elevates p21 gene expression in cancer cells and the mouse colon
竹島 大貴	島根大学大学院生物資源科学研究科	Mutation of active-site residues, Phe105 and Leu358, alters substrate specificity in a copper amine oxidase from <i>Arthrobacter globiformis</i>
美藤 友博	鳥取大学大学院連合農学研究科	A dodecylamine derivative of cyanocobalamin potently inhibits the activities of cobalamin-dependent methylmalonyl-CoA mutase and methionine synthase of <i>Caenorhabditis elegans</i>
安田 江里	岡山大学大学院環境生命科学研究科	Functional and structural analysis of <i>Pseudomonas putida</i> L-methionine γ -lyase and its C116H mutant

6)その他

a) 栄養機能食品制度検討タスクフォース

内閣府規制改革会議の提案事項(閣議決定)のうち「栄養機能食品の対象拡大」について、学会として積極的に取り組むため、産・学界の専門家 15 名に委嘱し、平成 26 年 3 月にタスクフォース立ち上げ検討している。

検討結果を理事会の承認を経て平成 26 年 9 月学会として、内閣府規制改革推進室あて次の3件を要望・提案した。

- ① 食品の新たな機能性表示制度検討会報告書内容に関する要望
- ② 栄養機能食品制度に関する提案
- ③ 食事摂取基準策定に関する提案

また、別途、消費者庁食品表示企画課あて「食事摂取基準策定に関する提案」を行なった。

b) ホームページによる広報活動

各種事業の案内・募集等ホームページを積極的に活用し、一般市民、会員に有用な情報を常に提供している。

3. 総会、理事会、委員会等開催状況

会議名	開催日	場所
総会	平成 26 年 6 月 13 日	姫路商工会議所
理事会	平成 26 年 5 月 12 日	(メール審議)
	平成 26 年 6 月 12 日	姫路商工会議所
	平成 26 年 6 月 13 日	ホテル日航姫路
	平成 26 年 8 月 24 日	日本イタリア会館
	平成 26 年 11 月 30 日	キャンパスプラザ京都
	平成 27 年 2 月 8 日	京都市国際交流会館
幹事会	平成 26 年 6 月 12 日	姫路商工会議所
編集委員会	平成 26 年 4 月 3 日	日本イタリア会館
	平成 26 年 6 月 26 日	日本イタリア会館
	平成 26 年 8 月 19 日	日本イタリア会館
	平成 26 年 9 月 13 日	(メール審議)
	平成 26 年 9 月 18 日	(メール審議)
	平成 26 年 10 月 22 日	(メール審議)
	平成 26 年 10 月 24 日	日本イタリア会館
	平成 26 年 12 月 22 日	日本イタリア会館
	平成 27 年 1 月 16 日	(メール審議)
	平成 27 年 2 月 3 日	(メール審議)
	平成 27 年 3 月 30 日	日本イタリア会館
トピックス等担当委員会	平成 26 年 6 月 14 日	姫路商工会議所
業務担当理事会	平成 26 年 4 月 30 日	日本イタリア会館
	平成 26 年 7 月 7 日	日本イタリア会館
	平成 26 年 11 月 9 日	日本イタリア会館
	平成 27 年 1 月 27 日	日本イタリア会館
監査	平成 26 年 4 月 30 日	日本イタリア会館

平成 26 年度事業報告 附属明細書

平成 26 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。